略表題　著者名－略表題（改行）

（1行空ける）

表題を3行目から始める　○○○○の○○○○○○○○における○○○○○○が○○○に及ぼす影響（改行）

著者A1)・著者B2)・著者C3)・著者D1)（改行）

（1) ○○大学○学部，2) ○○県農業試験場，3) ○○株式会社○○研究所）（改行）

（1行空ける）

年　月　日受理．連絡責任者：○○○○　〒xxx-xxxx　○○県○○市○○…………… 所属 TEL xxxx-xx-xxxx，FAX xxxx-xx-xxxx，▯▯▯▯@▯▯▯▯（改行）

本研究の一部は○○○○の支援を受けた．

（1行空ける）

**要旨**：650字以内（途中で改行しない）　○○○○○○ため，……………○○○○を用いて，○○○○○○○した．……………（改行）

**キーワード**：8語まで（語順は任意だがKey wordsと語順を揃える）○○○，○○○，……，○○○，……，○○○．（ピリオドを打って改行）

（1行空ける）

**Effect of High Temperature Conditions on** ………… **in a Rice Cultivar ‘Koshihikari’ under** ………………… **in** ………… **Prefecture**（改行）

著者名（名は頭文字のみ大文字，姓はすべて大文字とする）Name FAMILYNAME1), Name FAMLYNAME1), Name FAMILYNAME2), and Name FAMYLYNAME3) (1) *Fac. Xxxxx, Yyyyy Univ., Place postal code, Japan;* 2) *Xxxxx Prefecture Agric. Res. Cent.; Aaaaa, Co. Ltd., Ccccc Inst.*)（改行）

**Abstract**: 230語以内（途中で改行しない）……… ……… ………… ………… …… ……… …… ………………………………………（改行）

**Key words**: ………, Koshihikari, ………, *Oryza sativa* L., ……….（ピリオドを打って改行・改ページして緒言を始める）

近年，○○○○○○○○の影響による○○○○○○○○が全国各地で問題になっている．○○○○○○…………（段落先頭は全角1文字インデント）

本研究は，…………

**材料と方法**

**1．○○○○**

試験には…………を供試し，…………（段落先頭は全角1文字インデント）

各図表の挿入位置目安を右余白にテキストボックスで示す

（1行空ける）

**2．○○○○**

…………（段落先頭は全角1文字インデント）

（1行空ける）

「結果」と「考察」をひとまとめにする場合は「結果と考察」とする

**結果**

**1．○○○○**

…………（段落先頭は全角1文字インデント）

（1行空ける）

**2．○○○○**

…………（段落先頭は全角1文字インデント）

（1行空ける）

**考察**

**1．○○○○**

…………（段落先頭は全角1文字インデント）

（1行空ける）

**2．○○○○**

…………（段落先頭は全角1文字インデント）

（1行空ける）

**謝辞**：本論文を作成するにあたり，○○○○○○○○，○○○○○○○○○○……………………………………………………．ここに記して謝意を表します．（改行）

（1行空ける）

引用文献

Addams, K., ………, …………, ………… and Heilie, M. 20xx. Temperature during grain ripening affects grain filling in Koshihikari more than in Indica cultivars espetially in terms of starch properties. ジャーナル名（略表記可） 57: 1053-1059.（英語の論文タイトルの先頭文字以外は原則として小文字．2行目以降はインデントする：字下げにスペースは使わない）

秋田○○・○○□・△△△○ 20xx. …………………………における………………と…………との関係. 日作紀 xx: 59-66.

（図表の説明は改ページして始める）

図表の説明

第1図　○○○○．

エラーバーは標準誤差（n=3）を示す．\*は同一調査日で試験区間に5％水準の有意差があることを示す（Tukey法，n=4）．

（1行空ける）

第1表　○○○○．

○○○は○○○を示す．○○率は逆正弦変換後に分散分析した．†，\*，\*\*はそれぞれ10％，5％，1％水準で有意であることを示す．nsは有意ではないことを示す．

（1行空ける）

第2表　○○○○．

同一年次の異なる英文字間に5％水準の有意差あり（t検定）．

（図表ページは改ページして始める）

第1図を貼り付ける

・図の目盛線は図の内向きとするのが基本

・図中文字は明朝系フォントが基本（ゴシックやイタリックなどにする場合はフォント指定し，赤字にする）

・投稿時は図の解像度は校閲に支障がない程度で良い

採択後は，ベクトルデータ形式の図（WindowsのOfficeソフトで作成したものなら、拡張メタファイルで貼り付ければ良い）が必要

・印刷時の文字の大きさに留意（1ポイント＝0.35 mmとして，印刷時に，図の文字・数字は4ポイント以上となるよう配慮する）

・モノクロ印刷とする場合，図・写真はモノクロのものを貼り付ける

第1図　○○○○．

図の説明，注も記載する（図表の説明のページの内容をコピペする）

余白に責任著者名，縮尺（％、2／3など，または片段，全段）の指定を記載し，カラー印刷の場合は「カラー」と記載する

第1表　○○○○．

第1表を貼り付ける

・表には横線のみ使い，縦線は原則として使わない

・図中文字は明朝系フォントが基本（ゴシックフォントなどとする場合はフォント指定し，赤字にする）

・印刷時の文字の大きさに留意（1ポイント＝0.35 mmとして，印刷時に，表中の文字・数字は5ポイント以上となるよう配慮する）

表の説明等も記載する（図表の説明のページの内容をコピペする）

余白に責任著者名，縮尺（％，2／3など，または片段，全段）の指定を記載し，カラー印刷の場合は「カラー」と記載する